

令和4年度

新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金活用事業【評価】

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業【評価】

No.1

事業名	ふるさと見守り・ワーケーション推進事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症により、帰省できない方々へ故郷の様子を配信しふるさと回帰の醸成、ワーケーション地の状況をリアル配信しPRするとともに利用者の拡大を目指す。既設置済5ヵ所の機能強化と若あゆ温泉、長尾橋に新設。</p> <p>②委託料（ライブカメラ設置業務）</p> <p>③既設置済5ヵ所分の更新9,600,000円、新規設置2ヵ所（若あゆ温泉、長尾橋）5,280,000円（一般財源：2,725千円）</p> <p>④住民、来訪者</p>	
実績	14,542,000円	ライブカメラ設置業務委託料14,542,000円
評価	<p>赤外線による夜間対応のカメラを設置することで、河川の増水や氾濫の状況を実地に行かなくともパソコンやスマホなどで確認することが可能となり、より安全安心な環境が構築された。また、舟形町の情景やワーケーション地の状況を4Kの高精細・高画質の動画を常時WEB配信することで、町内外の視聴者に町の情報発信やPRを行う環境が整備された。</p>	
備考		

No.2

事業名	公共施設移動型Wi-Fi環境整備事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症対策のため、役場保健センターに移動型Wi-Fi環境を整備し、オンラインによる行政手続きの活用促進を図る。また、移動型Wi-Fiを整備することにより、イベント時に自由にWi-Fiスポットを設置することが可能となる。</p> <p>②委託料（Wi-Fi環境整備）</p> <p>③マルチホップWi-Fi構築委託料940,000円（一般財源：172千円）</p> <p>④住民、来訪者</p>	
実績	919,886円	マルチホップWi-Fi構築委託料919,886円
評価	<p>若鮎まつりの飲食スペースやスマホ出前教室で無料Wi-Fiスポットを提供。今後、5Gエリアの拡大を見ながら町にあった効果的な活用方法を引き続き検討していく。</p>	
備考		

事業名	地域公共交通維持・確保対策事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症対策のため、感染対策を行った車両を導入することで、利用者の安全・安心を確保し、利用者の増加及び事業者の事業継続を支援する。</p> <p>②補助金（車両1台を取得する際の経費を補助）</p> <p>③車両及び設備取得費の2/3（上限2,500,000円） （一般財源：458千円）</p> <p>④事業者</p>	
実績	1,956,000円	1件：導入価格2,934,953円×2/3=1,956,000円（千円以下切り捨て）
評価	<p>デマンド型乗合タクシーの利用者は高齢者が多く、乗降しやすいユニバーサルデザインタクシーを導入したことで、利便性の向上が図られた。また、車両に感染症対策の設備を設置することで、安心して利用できる環境を整えることができた。</p>	
備考		

事業名	デジタル観光マップ作成事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症対策として、不特定多数の接触の機会を減らし感染防止を図るとともに、資源の有効活用及び持続可能な社会づくりため、観光パンフレットのペーパーレス化及び町内周遊のための基盤整備をする。</p> <p>②委託料（デジタル観光マップ（3言語）の作成委託）</p> <p>③企画・制作及び翻訳作業537,000円、トップページ・チラシデザイン及び印刷作業100,000円、消費税63,700円、合計700,700円 （一般財源：128千円）</p> <p>④町、旅行者</p>	
実績	700,700円	委託料：700,700円
評価	<p>高校生世代の郷土愛を育むきっかけとなるとともに、多言語等インバウンドに対応したデジタル観光マップを作成したことにより、観光客への案内が簡便化し、アフターコロナの全国的なインバウンドの回復に対応する体制の一端を整備することができた。</p>	
備考		

No.5

事業名	地域経済変動対策資金利子補給事業	
概要	<p>①新型コロナウイルスの影響により、売上が急激に減少し、経営の安定に支障が生じている中小企業者のうち、県・地域経済変動対策資金貸付として県が認めたものに対して、通常1.6%の利子のうち金融機関が0.6%、県が0.5%、市町村が0.5%をそれぞれ負担し、無利子での貸付することにより、経営に支障が生じている中小企業者の支援を図る。</p> <p>②利子補給金</p> <p>③令和4年度に見込まれる利子補給金2,328,699円×1/2≒1,164,000円（一般財源：213千円、都道府県補助：1,164千円）</p> <p>④事業者</p>	
実績	2,328,697円	利子補給件数：14件 補助金：2,328,697円
評価	新型コロナウイルス感染症の影響で売上が急激に減少し、厳しい経営状況の事業者が無利子で貸付を受けられることにより経営の安定化と経営意欲の向上につながった。	
備考		

No.6

事業名	セーフティネット等保証料補給事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症による影響を受けセーフティネット保証制度を活用した町内事業者の保証料補給を県と連携して行うことにより、中小企業者の支援を図る。</p> <p>②セーフティネット保証制度に係る保証料の補給金</p> <p>③令和4年度に見込まれる保証料補給金1,000,000円（一般財源：183千円）</p> <p>④事業者</p>	
実績	732,789円	保証料補給件数：17件 補助金：732,789円
評価	新型コロナウイルス感染症の影響で売上が急激に減少し、厳しい経営状況の事業者に対して保証料を補給することにより事業継続、経営の安定に寄与した。	
備考		

事業名	緊急経済対策事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症により減収となった商工業者を支援する目的で、プレミアム付き商品券(30%プレミアム)を発行し地域経済の活性化を図る。1)舟形町プレミアム商品券発行事業、2)ガンバルめがみちゃん応援事業</p> <p>②報酬、消耗品費、補助金</p> <p>③報酬121,210円×6ヵ月≒728,000円、時間外手当 150,000円、通勤手当4,200円×6ヵ月≒26,000円、消耗品費100,000円</p> <p>1)舟形町プレミアム商品券発行事業 プレミアム(30%)分3,000円×10,000冊=30,000,000円、商品券印刷60円×10,000冊×1.1=660,000円、チラシ印刷20円×1,800枚×1.1≒40,000円、ポスター印刷1,000円×20枚×1.1=22,000円、取扱店等への周知郵送代120円×170事業所≒21,000円、消耗品等100,000円、販売手数料 30円×10,000冊=300,000円、振込手数料150,000円、事務員雇上げ100,000円×5ヵ月=500,000円</p> <p>2)ガンバルめがみちゃん応援事業 商品券印刷90円×6,650冊×1.1≒659,000円、補助金6,750,000円 (一般財源：61千円、都道府県補助：7,306千円)</p> <p>④住民、事業者</p>	
実績	38,099,160円	報酬：737,820円 職員手当等：143,779円 旅費：25,200円 消耗品費：74,135円 印刷製本費：93,500円 舟形町プレミアム付商品券10,000冊、本事業への参加事業者：20事業者 補助金：37,024,726円
評価	商品券の発行により、コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けた地域消費者への支援と地域消費者の購買意欲の向上により、地域経済が活性化し町内事業者への支援が図られた。	
備考		

事業名	子育て支援センター感染症対策事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症予防の為、子育て支援センターに配置してある遊具やおもちゃ、本等の殺菌・消毒を確実にスムーズに行う事で、感染症予防対策ができ、安全に子育て支援センターが利用できる。</p> <p>②消耗品費、備品購入費</p> <p>③らいおんクリーン45(殺菌庫) 646,800円、サナマックス(20ℓ) 35,200円、子ども用足踏み式消毒スタンド29,700円、フロアマット48,500円、二酸化炭素計測器 12,980円×2台 = 25,960円、収納棚 45,000円、各種遊具・備品429,000円 (一般財源：231千円)</p> <p>④町</p>	
実績	1,255,898円	<p>消耗品費：二酸化炭素計測器18,480円、アルコールクロス11,924円、その他遊具等315,834円</p> <p>備品購入費：殺菌庫425,700円、足踏み消毒スタンド43,560円、その他備品440,400円</p>
評価	絵本や遊具等の消毒を徹底したことで、安全な子育て支援センターの運営ができた。	
備考		

事業名	公共施設等感染予防対策事業	
概要	<p>①公共施設等での新型コロナウイルス感染症対策に係る物資導入し、利用者の安全安心できる環境の確保を図る。</p> <p>②消耗品費</p> <p>③手指消毒アルコール400,000円、ペーパータオル200,000円、ノータッチディスペンサー400,000円、空気清浄機(31畳用) 102,300円×32台 = 3,273,600円、空気清浄機(42畳用) 132,000円×27台 = 3,564,000円 (一般財源：1,078千円) <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>④町、住民</p>	
実績	7,832,560円	<p>消耗品費：手指消毒アルコール、ペーパータオル、ノータッチディスペンサー等1,294,160円</p> <p>備品購入費：空気清浄機(52台) 6,538,400円</p>
評価	公共施設や指定避難所等でのウイルス感染症対策や避難者の健康を守るための物資を導入したことで、感染症対策が図られ、また避難所においては、避難方法や避難の際の留意点、また避難された際でも安心安全な避難所生活を送ることができるための対策が図られた。	
備考		

事業名	農畜水産物生産継続支援事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症対策のため、役場保健センターに移動型Wi-Fi環境を整備し、オンラインによる行政手続きの活用促進を図る。また、移動型Wi-Fiを整備することにより、イベント時に自由にWi-Fiスポットを設置することが可能となる。</p> <p>②委託料（Wi-Fi環境整備）</p> <p>③マルチホップWi-Fi構築委託料940,000円 （一般財源：172千円）</p> <p>④住民、来訪者</p>	
実績	1,153,000円	補助金：家畜等：1件（子牛2頭） $1,307,900 \div 2 = 653,000$ 円、 水産物：1件（アユ種苗55万尾） $4,961,000 \div 2 = 500,000$ 円（上限50万円）合計1,153,000円
評価	肉用牛の価格が下落し、経営が圧迫されている畜産農家に対する繁殖牛の導入支援や、釣り客が減少したことによる遊漁券販売が低迷し、経営が圧迫されている漁業者に対し、鮎の種苗等の導入支援により、生産意欲の低下を防止することができた。	
備考		

事業名	舟形米商品開発・情報発信事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症の収束後の経済活動の復興を図り、強靱な構造を実現する。1）衛星を使った稲の生育管理を行うシステムを栽培に用いて作った米の付加価値の高い商品づくり、2）町が業者に委託し、舟形町の農産物に関するPR動画を作成し、町HPに掲載しPRする。</p> <p>②補助金、委託料</p> <p>③1)付加価値の高い商品づくりの取り組み2/3（補助上限500,000円）、2)PR動画の作成800,000円 （一般財源：238千円）</p> <p>④農家、農業者が組織する団体（農業法人、任意組合）</p>	
実績	764,500円	PR動画の作成委託料：764,500円
評価	コロナ収束後の農産物の販売を見据えて、舟形町の野菜を全国に向けてPRしつつ、日本一のおいしい給食食育推進事業の取り組みについて紹介する動画を作成することができた。	
備考		

事業名	農作業受託推進協力金交付事業	
概要	<p>①感染者の営農の継続を支援。新型コロナウイルスの感染等によって農作業が実施できない農家を支援するため、農作業を受託する者に対し、農作業受託推進協力金を交付する。ただし、国及び県の同様の制度に該当するものを除く。</p> <p>②報償費、補助金</p> <p>③受託日数に応じて協力金を交付する。農作業受託料金については、委託者が受託者に対し別途支払う。5日未満10,000円/人×20人=200,000円、5日以上10日未満20,000円/人×20人=400,000円、10日以上40,000円/人×10人=400,000円 (一般財源：183千円)</p> <p>④農家、農業者が組織する団体（農業法人、任意組合）</p>	
実績	40,000円	受託期間11日間：40,000円（1人）
評価	新型コロナウイルス感染症により、作業できなくなった農家の農作業受託を推進することで、営農の継続を支援することができた。	
備考		

事業名	飼料用米生産転換緊急支援事業	
概要	<p>①令和3年産米は、新型コロナウイルス感染症の影響により需要が大きく減り価格が大幅に下落した。令和4年産において、飼料用米の生産を拡大し、主食用米からの転換を図る農家を支援し、水稻農家所得の最大化を目指すとともに、水稻農家の営農の継続を目指す。また、将来主食用米の販売を拡大するため、水田機能を維持し、水田を減らさないことを目的として本事業を実施する。</p> <p>②補助金</p> <p>③昨年産の面積以下1,500円/10a×7,777.45a=1,166,618円、昨年度を超える面積10,000円/10a×1,100a=1,100,000円、合計2,266,618円≒2,300,000円 (一般財源：421千円)</p> <p>④農家、農業法人等</p>	
実績	2,184,750円	補助金：昨年産の面積以下1,500円/10a×7,425a=1,113,750円、昨年度を超える面積10,000円/10a×1,071a=1,071,000円 計 2,184,750円
評価	主食用米から飼料用米への転換及び飼料用米の新規作付けを推進することで、農家所得を確保するとともに、水田機能の維持を図ることができた。	
備考		

事業名	加工用米生産拡大支援事業	
概要	<p>①令和3年産米は、新型コロナウイルス感染症の影響により需要が大きく減り価格が大幅に下落した。令和4年産において、加工用米の生産を拡大し、新型コロナウイルス感染症の収束後において売れ残らない米づくりを推進するため、衛星システムを利用する農家を支援し、水稻農家所得の確保と営農の継続を目指す。また、将来主食用米の販売を拡大するため、水田機能を維持し、水田を減らさないことを目的として本事業を実施する。</p> <p>②補助金</p> <p>③昨年度を超える面積$5,000円/10a \times 1,500a = 750,000円$ (一般財源：137千円)</p> <p>④農家、農業法人等</p>	
実績	959,500円	補助金：昨年度を超える面積 $5,000円/10a \times 1,919a = 959,500円$
評価	主食用米から加工用米への転換及び加工用米の新規作付けを推進することで、農家所得を確保するとともに、水田機能の維持を図ることができた。	
備考		

事業名	スマート農業推進・省力化機械導入支援事業	
概要	<p>①新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、接触機会を減少させるとともに、省力化・軽労化を進め労働力不足を解消するため、スマート農業及び省力化等にかかる農業機械の導入を支援する。また、米価が下落し収益性が低下していることから、コロナ収束後を見据え、衛星を使った稲生育管理システムを用いて付加価値の高い商品づくりを進めるとともに、低コスト生産の取り組み及び農作業委託等を推進し、農業所得の確保を図る。</p> <p>②補助金</p> <p>③対象額の1/3に相当する額、または、助成限度額(500,000円)のいずれか低い額、上限額$500,000円 \times 5件 = 2,500,000円$ (一般財源：458千円)</p> <p>④認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者等</p>	
実績	1,824,000円	補助金：4件：1,824,000円
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、農作業の省力化及び軽労化を図るとともに、本町におけるスマート農業を推進することができた。	
備考		

事業名	米価下落対応稲作機械導入緊急支援事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響により米価が下落していることから、水稻農業者が営農継続ができるように、水稻に係る少額な農業機械導入（導入金額25万円以上）の一部を補助する。対象となる農業用機械は、育苗機、播種機、ハロー、モア、フレコン計量器、米選機、粃摺り機、グレンタンク等（農業機械共同利用の対象機械を除く）。</p> <p>②補助金</p> <p>③対象額の1/3に相当する額、または、補助上限300,000円のいずれか低い額、上限額300,000円×10件=3,000,000円 （一般財源：549千円）</p> <p>④生産の目安を守っている米の販売農家</p>	
実績	1,885,000円	補助金：12件：1,885,000円
評価	コロナ禍において米消費量が急減し、米価が下落した状況において、少額な農業機械の導入費用を一部補助することで、営農の継続を支援することができた。	
備考		

事業名	収入保険新規加入緊急奨励事業	
概要	<p>①県と連携して、収入保険の加入を促進し、農業者が新型コロナウイルス感染症の影響に負けない足腰の強い農業経営の実現を図る。</p> <p>②補助金</p> <p>③3万円（県2、町1）又は掛捨て保険料実費のいずれか低い方（のうち町独自事業。県事業の町負担分のみを交付） 新規加入分（県20,000円+町10,000円）×30件=900,000円（のうち町負担分300,000円）、 継続加入分、町10,000円×25件=250,000円 （一般財源：701千円）</p> <p>④収入保険の新規加入者、継続加入者</p>	
実績	440,000円	補助金：新規加入分：6件×30,000円=180,000円、継続加入分：26件×10,000円=260,000円 合計：440,000円
評価	農産物販売価格の急激な低下や収穫量の減少に対応していくため、セーフティーネットである収入保険制度の加入を推進することができた。	
備考		

事業名	成人式感染症対策事業	
概要	<p>①令和4年度成人式の新型コロナウイルス感染症対策のため、PCR検査の検査費用の助成と抗原検査キットを配布し、参加者の安全を確保する。</p> <p>②補助金、消耗品費、報償費</p> <p>③補助金（PCR検査費用の助成）$20,000円 \times 34人 = 680,000円$、消耗品（抗原検査キットの購入）$3,000円 \times 34人 = 102,000円$、報償費$20,000円 \times 1回 = 20,000円$ （一般財源：147千円）</p> <p>④式典参加者</p>	
実績	269,750円	消耗品費：・抗原検査キット（50セット）44,000円 ・除菌バスター（6個）・消毒液（3個）52,800円 補助金：PCR検査補助（8名分）172,950円
評価	二十歳の祝賀式参加者に当日抗原検査キットによる検査を実施した。また、県外在住の対象者へ、PCR検査費用及び証明書発行手数料の補助を実施した。参加者やその家族が安心して式典に参加することができた。また、その後の新型コロナウイルスの感染も確認されなかった。	
備考		

事業名	縄文の女神ペーパークラフトデザインコンテスト事業	
概要	<p>①コロナ禍の中で新生活様式の事業の一環として、各家庭でも取り組めるように、郷土の宝である国宝「縄文の女神」を題材としたペーパークラフトデザインコンテストを開催する。</p> <p>②消耗品費、報償費</p> <p>③消耗品（台紙）$700円 \times 200枚 = 140,000円$、報償費（入賞者報償）130,000円（審査員報償）200,000円 （一般財源：86千円）</p> <p>④町</p>	
実績	484,000円	消耗品費：・ペーパークラフトキット（200枚）140,000円 補助金：・コンテスト入賞者報償 縄文の女神クリスタル（9名分）46,500円、図書カード（30名分）97,500円 ・審査員報償200,000円
評価	コロナ禍でも家庭で縄文文化に触れる学習機会に繋がりと、郷土愛の醸成を図ることができた。また、最上町、大蔵村と共催したことで、最上地域の縄文文化伝承の展開と、3町村間の連携強化に繋がった。	
備考		

事業名	舟形中学校ICT教育事業	
概要	<p>①整備を実施した1人1台端末を活用し、新型コロナウイルス感染症等の影響による学校休校中の家庭学習、リモート授業等を効果的に行うため、オンライン学習教材を導入する。</p> <p>②委託料、使用料</p> <p>③ AI型教材「キュビナ」中1～中3 5教科導入、オンライン学習教材導入委託料275,000円、オンライン学習教材使用料（1年分）1,494,000円 （一般財源：324千円）</p> <p>④町</p>	
実績	1,052,480円	委託料：・オンライン学習教材サポート費用110,000円 使用料：・オンライン学習教材アカウント利用料（119名分）942,480円
評価	コロナ禍での家庭学習、リモート授業を効果的に行う環境が整えられ、効果的に活用することができた。	
備考		

事業名	舟形団地集会施設改修事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症対策として、舟形団地の集会施設について感染対策を講じやすい環境に改修し、感染を防止する。</p> <p>②工事費</p> <p>③空調設備(2台)500,000円、床面改修800,000円、トイレ洋式化（フタ付き）1,400,000円、換気扇設置300,000円 （一般財源：549千円）</p> <p>④町</p>	
実績	2,805,000円	工事請負費：空調設備(2台)1,093,802円、床面改修688,600円、トイレ洋式化（フタ付き）969,456円、換気扇設置53,142円 計2,805,000円
評価	本集会施設の新型コロナ感染症対策工事により、入居者等が安全に交流することができる環境を構築することができ、今後の交流機会拡大につなげることができた。	
備考		

No.23

事業名	新生活様式対応支援事業	
概要	① (No.7の拡充) 新型コロナに加え、原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者が経済回復に向け、新生活様式に対応するために行う設備投資等に対し、補助金を交付し、事業継続を図る ②補助金 ③新生活様式に対応するための設備投資に対して3/4を補助、補助金20万円×6事業者＝1,200,000円 (一般財源：200千円) ④事業者	
実績	1,179,000円	補助金：7事業者 補助金：1,179,000円
評価	新型コロナウイルス感染症に加え、原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者に対し、新しい生活様式に対応するための補助金を交付したことにより、感染拡大防止対策等に寄与した。	
備考		

No.24

事業名	緊急支援給付金事業	
概要	①新型コロナに加え、原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者に対し、支援金を給付することにより、事業継続を図る。 ②支援金 ③個人事業主 50件×5万円＝2,500,000円 法人 25件×10万円＝2,500,000円 (一般財源：778千円) ④町内事業者等	
実績	4,000,000円	補助金：給付件数62件 補助金：4,000,000円
評価	原油価格や物価高騰、さらに長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上が減少し、厳しい経営環境にある事業者に対し、給付金を交付したことにより事業継続、経営の安定に寄与した。	
備考		

事業名	公衆浴場燃料等高騰対策支援事業	
概要	<p>①新型コロナウイルスにおける燃油高騰及び電気料金の値上げの影響を受けている公衆浴場に対し支援を行う。</p> <p>②支援金</p> <p>③・燃料高騰に対する支援</p> <p>1日平均450L×燃料費差額27円×30日×12月=4,374,000円</p> <p>・最終補償供給契約に伴う電気料金値上げに対する支援</p> <p>契約単価差額月額136,000円×11月=1,496,000円</p> <p>燃料費調整額5.33円×35,000/kWh×12月=2,238,600円</p> <p>合計額8,108,600円（一般財源：1,261千円）</p> <p>④公衆浴場</p>	
実績	8,109,000円	補助金：契約単価差額月額等 補助金：8,109,000円
評価	<p>令和4年度は灯油及び電気料金のみならず、物価高騰等の影響もあり、（株）舟形町振興公社の経営状態は令和3年度と比較し非常に厳しい状況にあった。</p> <p>本事業を通して支援を行うことで、入浴料金等の改定を行わずに2月までの資金繰りを確保することができ、また、長期休業を要することなく営業を継続できた。</p>	
備考		

事業名	農林水産業燃油・肥料等高騰対策支援事業	
概要	<p>①燃油及び肥料（飼料）の高騰に対する支援。新型コロナウイルス感染症の影響により、燃油及び肥料（飼料）が価格が高騰しており、生産者に対し価格上昇分を支援することで、生産継続の意欲の醸成を図る。ただし、国及び県その他制度に該当し、補給金等が交付されるものを除く。</p> <p>②補助金</p> <p>③1) 水稻（全ての水稻）※生産の目安達成者のみ対象 燃油高騰分・肥料高騰分 @1,500円/10a×91,355a=13,703,250円</p> <p>2) 園芸（重点振興作物・振興作物） 燃油高騰分・肥料高騰分 @5,000円/10a×4,700a=2,350,000円</p> <p>3) 畜産燃油（R2とR4の購入額の差額）×1/2 ①乳牛@3,800円×110頭=418,000円 ②繁殖牛・肉用牛@1,500円×40頭=60,000円</p> <p>4) マッシュルーム・家禽（カモ飼養）・そば刈取組織 燃油・飼料等高騰分（R2とR4の購入額の差額）×1/2 @500,000円×2経営体=1,000,000円</p> <p>5) 林業（素材生産業、製材業、造林保育業） 燃油高騰分（R2とR4の購入額の差額）×1/2 @500,000円×3経営体=1,500,000円</p> <p>6) 水産業（漁業協同組合、養殖業） 燃油・飼料高騰分（R2とR4の購入額の差額）×1/2 @300,000円×2経営体=600,000円 合計19,631,250円 ≒19,700,000円</p> <p>※4)～6)の事業の交付額上限は500千円とする。 （一般財源：3,064千円）</p> <p>④町内に住所を有する農家、農業法人、林業及び水産業の経営体</p>	
実績	18,068,394円	補助金：水稻：88,220 a × 1,500円/10 a = 13,233,000円、園芸：5,317 a × 5,000円/10 a = 2,658,500円、繁殖牛および肉牛：37頭 × 1,500円 = 55,500円、乳牛：105頭 × 3,800円 = 399,000円、カモ：1件 280,263円、そば：1件 282,126円、林業：1件 400,583円、水産業：3件 759,422円 合計：18,068,394円
行政評価	令和4年度は灯油及び電気料金のみならず、物価高騰等の影響もあり、（株）舟形町振興公社の経営状態は令和3年度と比較し非常に厳しい状況にあった。 本事業を通して支援を行うことで、入浴料金等の改定を行わずに2月までの資金繰りを確保することができ、また、長期休業を要することなく営業を継続できた。	
ご意見		

事業名	学校給食原材料高騰対策事業	
概要	<p>①小・中学校に対し、新型コロナにおける原油価格・物価高騰の影響による学校給食の原材料費高騰分について補助し支援する。</p> <p>②補助金（高騰した分の食材購入費：教職員は除く）</p> <p>③4月期の全国消費者物価指数（生鮮食品）の上昇率（前年同月比）12.2%を現在の単価に乗じて算定</p> <p>小：@265円×12.2%×194人×200日＝1,254,404円</p> <p>中：@310円×12.2%×119人×200日＝900,116円</p> <p>（一般財源：335千円）</p> <p>④小中学校</p>	
実績	2,075,000円	補助金：小学校：265円×12.2%×年間食数37,838食＝1,223,000円 中学校：310円×12.2%×年間食数22,546食＝852,000円
評価	燃油及び肥料（飼料）が高騰している状況において、4年産用の春肥及び、国・県等の支援制度がないものに対し支援することで、経営体の事業継続意欲につながった。	
備考		

事業名	鮎購入補助事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症等の影響により売り先が減少している鮎について、町内外へのPRのため鮎を値引販売する小国川漁業協同組合に対し、1尾あたり値引前販売金額の1/2（上限100円）の補助を行うもの。</p> <p>②補助金</p> <p>③販売補助30,000尾×100円＝3,000,000円</p> <p>※購入金額の1/2（上限100円）</p> <p>（一般財源：392千円）</p> <p>④事業者</p>	
実績	2,865,000円	補助金：30,000尾の鮎を完売 補助金：2,865,000円
評価	売り先を失った鮎30,000尾について、補助金を活用することによりすべてを販売することができ、町最大の特産品の魅力を販売先を通じて多くの消費者にPRすることができた。今後の鮎の販路拡大へとつながることが期待される。	
備考		

事業名	町特産品販売促進事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症等の影響により売り先が減少している鮎について、福祉施設等への焼き鮎などの寄贈を町が行うほか、感染症対策として鮎のテイクアウト・ドライブスルー販売や配達販売等を委託する。また、焼却可能な紙製容器包装等をテイクアウトに活用する事業者へ補助を行う。</p> <p>②報償費、消耗品費、委託料、補助金、職員手当等</p> <p>③・福祉鮎買い上げ分 1尾400円×350尾 = 140,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策消耗品（消毒液等） 100,000円 ・委託料（予約対応及び配達業務とそれに伴う広告宣伝業務） 2,067,000円 ・感染対策用紙製容器包装購入補助 250,000円 ・ドライブスルー業務等に係る町職員時間外人件費 450,000円 <p>（一般財源：393千円）</p> <p>④住民、消費者、事業者</p>	
実績	2,611,513円	報償費：139,550円 鮎商品販売尾数合計11,299尾、委託料：2,049,300円 補助金：25,000円、職員手当等：397,663円
評価	<p>9月10～11日にかけて食の祭典ふながた若鮎まつりが開催され、来場者約3,100名に対し、焼き鮎4,296尾、鮎天井244食、冷凍鮎6,332尾を販売するなど、合計11,299尾の鮎を販売したほか、マッシュルームやかじか焼き等の特産品を販売することができた。</p> <p>また、町内外に舟形の特産品をPRできたとともに、福祉施設において地域の魅力的な資源である鮎を食す機会を設けたことで、郷土愛を育む一助とすることができた。</p>	
備考		

事業名	学校保健特別対策事業費補助金	
概要	<p>①学校の教育活動継続に際して、密閉、密集、密接を回避し児童生徒・教職員等の新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品の購入経費に対する町負担分の充当。 児童生徒の学びの保障のため、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、感染の状況や児童生徒の状況に応じた学校での教育活動に際して生じる経費の町負担分の充当。</p> <p>②消耗品費、備品購入費</p> <p>③【消耗品】</p> <p>小) 除菌バスター4,000円×5台×1.1=22,000円 中) 除菌バスター4,000円×5台×1.1=22,000円 小) 消毒液6,000円×5個×1.1=33,000円 中) 消毒液6,000円×5個×1.1=33,000円 小) タブレット用ヘッドセット900円×63個×1.1=62,370円 中) タブレット用ヘッドセット900円×119個×1.1=117,810円 小) 抗原検出キッド5,000円×16個×1.1=88,000円 中) 抗原検出キッド5,000円×16個×1.1=88,000円</p> <p>【備品購入費】</p> <p>小) 給食用配膳使用テーブル57,000円×6台×1.1=376,200円 小) 除菌カーテン一式440,000円 中) 机・イス20,700円×35台×1.1=796,950円</p> <p>【消耗品】466千円 【備品購入費】1,614千円 (一般財源：166千円)</p> <p>④小中学校</p>	
実績	2,148,610円	<p>消耗品費：小学校：除菌バスター5,000円×5台=25,000円、スーパー除菌バスター6,000円×15台=90,000円、抗原検出キッド10,000円×5×1.1=55,000円 等 中学校：タブレット用ヘッドセット900円×120個×1.1=118,800円、抗原検査キッド10,000円×12×1.1=132,000円 等 備品購入費：小学校：給食用配膳テーブル52,000円×6台×1.1=343,200円、抗菌カーテン一式398,000円×1.1=437,800円 中学校：机11,600円×35台、イス5,900円×35台=719,950円</p>
評価	小中学校の状況にあった必要な物品を購入したことにより、学校での感染症対策を徹底し、学校教育活動を継続することができた。	
備考		

No.31

事業名	舟形小中学校換気設備設置事業	
概要	①新型コロナウイルス感染の換気対策として、教室等に換気のための網戸を設置する。 ②備品購入費（網戸設置） ③網戸設置工事 1,220,000円（小学校18枚、中学校35枚） （一般財源：160千円） ④小中学校	
実績	1,001,000円	工事請負費：網戸設置工事1,001,000円（小学校18枚、中学校35枚）
評価	小中学校に網戸を設置したことで、窓を開けて換気ができるようになり、より感染症対策の徹底を図ることができた。	
備考		

No.32

事業名	小中学校修学旅行等参加者に係る抗原検査キット購入事業	
概要	①小中学校の県外修学旅行等における児童・生徒・関係者の新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底を図るため、抗原検査キットを購入する。 ②消耗品費（抗原検査キット） ③抗原検査キット840円×150セット×1.1=138,600円 （一般財源：18千円） ④小中学校	
実績	132,000円	消耗品費：抗原検査キット800円×150セット×1.1=132,000円
評価	検査キット購入により、県外修学旅行等の参加者全員の抗原検査を実施し、感染症対策の徹底を図ることができた。	
備考		

事業名	生活応援商品券事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響に加え、電気料金や原油価格高騰などにより負担が増えた家計と町内事業者への支援を目的に、町民1人あたり10,000円の商品券を配布する。</p> <p>②時間外手当、消耗品、印刷製本費、役務費、補助金</p> <p>③時間外手当 150,000円 消耗品 商品券封筒代等 200,000円 商品券印刷 @73.9円×4,920冊×1.1≒400,000円 役務費 商品券郵送料ラベル作成込（ゆうパック） @520円×1,643世帯≒855,000円 補助金 49,400,000円 （一般財源：1,500千円）</p> <p>④住民・事業</p>	
実績	50,265,919円	職員手当等：149,219円 消耗品費：140,642円 印刷製本費：395,076円 役務費：795,956円 商品券4,911冊分 補助金：48,785,026円
評価	商品券の交付により、コロナ禍における原油価格・物価高騰により負担が増えた家計の負担軽減と地域内での購買意欲の向上により、町内事業者への支援が図られた。	
備考		

